

幻の結核予防会戦前のポスター

ポスターは本誌裏表紙に掲載

結核研究所

図書室 佐藤 和美

国立保健医療科学院図書館からの問い合わせ

2021年12月に同館所蔵の結核予防会作成の戦前のポスターについて、問い合わせが来た。製作年や利用詳細について、教えてほしいとポスターの画像も添付されてきた。当室や本会本部にこれらのポスターや記録は見当らなかった。

「結核豫防展覧會目錄：令旨奉體，結核豫防會編，[1939]（同志社大学所蔵の資料）」に関連があるのではないかと、コピーを取り寄せてみた。これは以前複十字No.400で本会工藤理事長（当時）が紹介された「結核とその予防 令旨奉體結核予防展覧會資料抜粋（昭和15年発行）」の目録であった。しかし、それには、これらのポスターの画像は載っていないが、似たタッチの図柄のポスターが見受けられる。この展覧会の開催は昭和14年11月23日からなので、年代も昭和14年あるいは15年ではないかと思われる。

ポスターの内容

これらのポスターの大きさは、縦1044mm、横733mmぐらいで、かなり痛んでいたため、国立保健医療科学院は予算をかけて修復したという。学院が所蔵しているのは全部で8枚である。番号から推察すると18枚以上あったらしい。結核予防会本部にも、結核研究所図書室にもこれらは見つからないので、送付いただいた画像のコピーを、本会アーカイブに保存させていただくことにした。ポスターの左側下には、「財團法人結核豫防會」と番号が書かれているが、制作年月日の表示はない。

これらのポスターについて紹介すると、タイトルは右から左の横書きで、その色は鮮やかで全体が優し

い色調のクリーム色で統一されている。戦時下のような顔のない灰色の兵隊さんや黄金バットが出てきそうな、暗い画面はない！「黄金バット」とは、戦前の紙芝居のヒーローである。金色の髑髏の仮面をかぶり、漆黒のマントを身にまとうスーパーヒーローとアンチヒーローの両面をもつ孤高の主人公だ。ポスターの絵

は柔らかく、漫画調で親しみやすい。言葉も命令調は少ない。8枚のタイトルを、現代の漢字・仮名遣いで紹介する。

- ①「結核蔓延の現状 この恐るべき事実を見よ！」。「結核の統計2020」によると、昭和13年の結核死亡数は148,827人、14年は154,371人、15年153,154人、16年154,344人。結核予防会の設立が14年なので、14年～16年の間に作成されたものと思われる。
- ②「我国の結核は青年病である 外国では青年の結核を征服した」、③「健康診断は科学的に」、④「感染後の注意 その一（発病予防）感染後一年位は用心せよ！」、⑤「正しい療養 誤った療

養」、⑥「人工氣胸療法」、⑦「回復期の注意」、⑧「各国結核予防施設」では、各国は国旗で示されているが、ドイツは、昭和8年～20年まで用いられていた鉤十字（ハーケンクロイツ）の国旗である。図は国旗で描かれているが、昭和16年12月8日に米英に対して宣戦布告したので、それ以前であろう。

これらのポスターが結核予防会に残されていないのが、残念であるが、国立保健医療科学院図書館が、きちんと保存されていたこと、本稿記載に許可を下さったことに深く感謝申し上げたい。また、このようなポスターをご存知またはご所蔵されている方や組織があれば、是非ご一報いただきたい。🐾

